

星屑

No. 297
'99 Dec.

いよいよ300号
間近になりました。
皆さんのお便り待つ
てます。

お手紙・葉書は
熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内
熊本県民天文台300号記念係まで
Phone 0964-28-7383(中島)
Fax 0964-26-2525(中島)
E-Mail : kcaohige@infobears.ne.jp
までお願いします。ファイル添付もOKです

熊本県民天文台

「オマケが本命となってしまった日食ツアー」

—その2—

宮本 幸男

10日 8時過ぎに朝食をとって9時に出発。中島先生・甲斐くん・僕と宮原さんという島崎小の先生、それに現地の日本人ガイドでチャーターバスに乗ってエスリンゲンにある観測地の下見である。ここはグライダーの滑空場で広々とした草原、日食観測にはもってこいの場所である。



けれども、昨日のヒコーキ雲の天気予報が当たって、小雨。明日は晴れて欲しいがこればかりは神頼みしかない。

下見を終り、バスでチュービンゲンに行く。ここのレストランで観光組と落ち合うことになっている。昼食でまたまたワインショーレを味わう。煙草を止めている所為か幾らかお酒を飲めるようになったらしい。

ここチュービンゲンの街は、とても古くて、それでいて美しい。街角が至る所絵になるほどだ。石畳の坂の途中に、古い本屋さんがあった。かつて昔この本屋さんにヘルマンヘッセが勤めていたそうだ。そしてここの大大学では、ケプラーが学んだという。雰囲気に酔うというのもおかしなことだが、この街をすっかり好きになってしまった。

再びバスに乗り込み、山の上にポツンと建っているホーエンツォレルン城を見に行く。ほんとに山の頂上に建てられている古い立派なお城である。

レストランで夕食をとり、ワインショーレは欠かさず飲んでいる。それでも基本的にやはり下戸で甘党なので、デザートのアイスクリームはバニラを頼んだ。7時半ホテルに着き、明日の観測器材を小型のリュックにつめ替えて、荷造りする。バッテリーもすべてフル充電完了。

あした天気になれ！！！！

11日 6時半に起きる。甲斐くんも天気を気にして、すでに起きている。小雨時々曇り、いやな天気だ。朝食では、お天気はどうでしょう？というのが朝の挨拶となっている。

8時 エスリンゲンに向けて出発。途中ひどい雨。しかしグライダーの滑空場に着く頃、一応雨はおさまったが、空は鉛のような厚くて重い雲に覆われていた。

9時半 それでも一応撮影準備完了。残念だが雲の動く気配はない。

皆既の時刻に近づき、急に辺りが暗くなつた。雨は小降り。



ますます暗くなる。暗くなる。慌てて周りの状況をビデオで撮影。

そして、やがて再び明るくなった。

拍手喝采、天岩戸からアマテラスさんが姿をあらわした時も、こんな感じだったかも
しない。

バスに乗って引き上げようとした時、雲の隙間から暫しの間、半欠けの太陽が顔を見せた。

途中、中島先生の発案で”ベンツ博物館”を見学。一つの企業が持つている博物館としては、大へんな規模で、クラシックカーから超近代的な競走車まで、

ベンツならではの立派な展示物も多く、しかも入場無料。

17時 ホテルに荷物を降ろし、街へでる。宮殿広場やケーニッヒ通りでは、日食の熱気未だ醒めやらず、パフォーマンスが繰り広げられていた。一時期前の原宿、竹下通りも顔負けといった感じ。

ツエッペリンというホテルのレストランで夕食をとり、マリティムに帰る。

面倒だが荷造りする。

日食観測が旨く成功していたら、荷造りも楽しいのに！

12日 今日は、ハイデルベルグ経由フランクフルト迄バス旅行。車の窓から見える景色は、まるで北海道の富良野辺りを見ているようだ。ただ少し違うのは一つの集落に必ずトンガリ屋根の教会がある。

ハイデルベルグで日本人の現地ガイドさんが乗り込んできた。この人なかなかの勉強家で、歴史からサイエンスまで何でも良く知っているようだ。この街は大学都市で、熊本市と姉妹都市の契約がある。またドイツの森林地帯シュワルツワルドと呼ばれる「黒い森」の入り口もある。その所為か、街の中央を流れるネッカーフリーアー河は、一見熊本の白川のようだが、深さはなんと10メートル以上で、水量は豊富。この河にはカール・テオドール橋という石造りの眼鏡橋がかかっている。これを渡ると”哲学者の道”に続くとのこと。

ハイデルベルグのお城も見に行く。上り坂の途中で若い娘さんが”淡彩の絵”を売っている。印刷したものだろうと思って、素通り。

お城の中には、世界一大きいというワインの樽がデンと座っていた。お城も良いがここからの眺めはまた格別である。

行き道で、ちょっと気になった処に立ち寄ってみた。その娘は学生で、売っている絵は自分で描いたのだそうだ。描き方が僕の水彩画とよく似ているので、カタコトノ英語というか、ボディランゲージでしばらく話し、三点ほど買ったら、サインを入れてくれた。僕にとって、皆既日食のオマケである。

街に戻り、大学の近くにあるレストランで昼食。ソーセージの長さが30センチ近くもあってビックリ。飲み物はワインショーレに決めた。

旧市街では、古い石畳が続き露天のお店が賑わいをみせている。僕はチロルハットを買ってしまった。この近くのお店では、魔法使いのおばさんが、よくかぶるような帽子も売っていた。妻や娘への土産はユニコーン（一角獣）というお店でもとめた。ここは円・米ドル・マルク・ポンドが簡単に使え、その日の為替相場で換算してくれる。



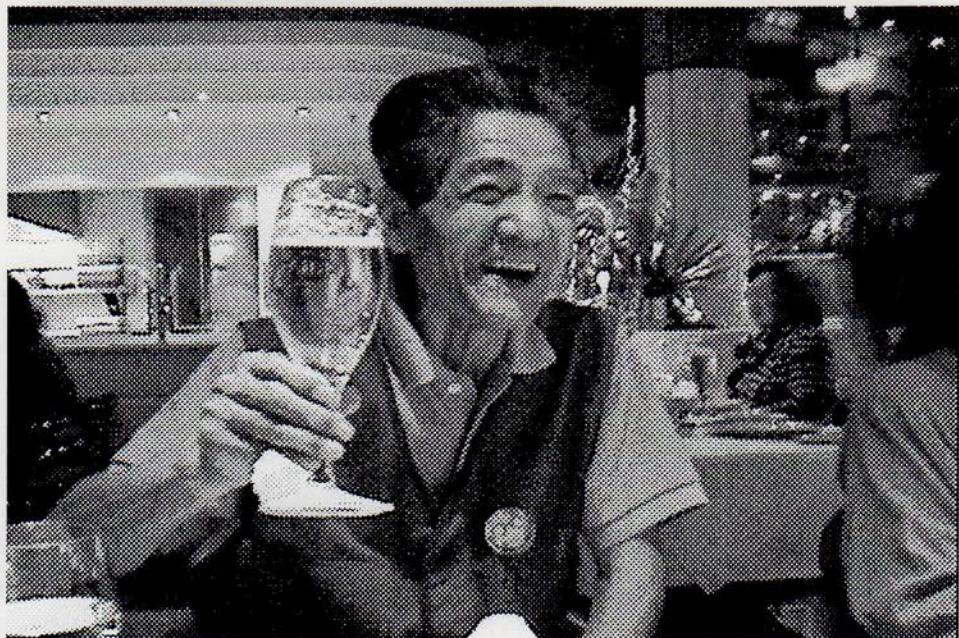
旅行者にとって有り難い店である。

フランクフルトに着いて、まずホテルへ。ここもマルティムだが、シュツットガルトのマルティムより1ランク上のようである。甲斐くんも、ホテルがだんだん良くなるようだ、と感心している。夕食までの時間、ちょっと街歩き。

今回のツアーは、高齢者が多い。その中で甲斐君・河北さん・山本さんは断然若い。その若さを、身振り手振り、言葉の勢いで充分に發揮。雨の日食で、とかく沈みそうになる僕たちを、明るい方へひっぱってくれた。その功績は大きい。大いに感謝です。

ところで中央駅の地下街で、怪しげな男に肩をたたかれた。「マリファナはいらんかネ」と。後で聞いたのだが、この地下街一帯はフランクフルトの危険区域だそうだ。

夕食後も外出せずに、ホテルのバーで残念会。



「この後ペルセウス座流星群ですよ。」と中島先生が。

ホテルの外へ出てみる。北極星がやけに高い。部屋に戻り、甲斐君がシャワーを浴びている間に、ペルセウス座の流星を2個見ることができた。

13日 フランクフルトの街は、戦争の時徹底的にこわされている。それで観光する場所が少ないそうだが、ゲーテの生家が完全に復元されているので見学に行った。

ゲーテと言えば「若きヴェルテルの悩み」の著者として知っている人も多い。これを翻訳し日本に紹介したのは木村謹治博士である。

僕にとっても、ゲーテは記憶から消えることはない。五十数年前、結婚の媒酌をして下さったのが、この木村先生なのである。

ゲーテの館では、皆それぞれに想いを抱き、記念写真を撮っていた。

フランクフルトの国際空港に着いた。いよいよヨーロッパともお別れである。

この季節、北緯60度近くを飛ぶ飛行機には、夜がない。真夜中でも薄明るい白夜の現象なのである。高度1万メートルが、地上より余計に白夜の感じを深くしているのかもしれない。

日食の文字が抜けてしまった、ヨーロッパ旅行記、最後までお付き合いいただき感謝いたします。では ハイ サヨーナラ。



COMET PAGE

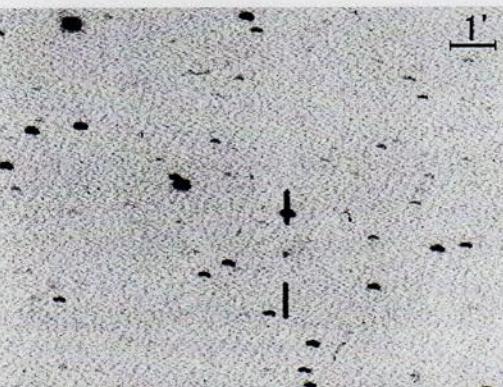
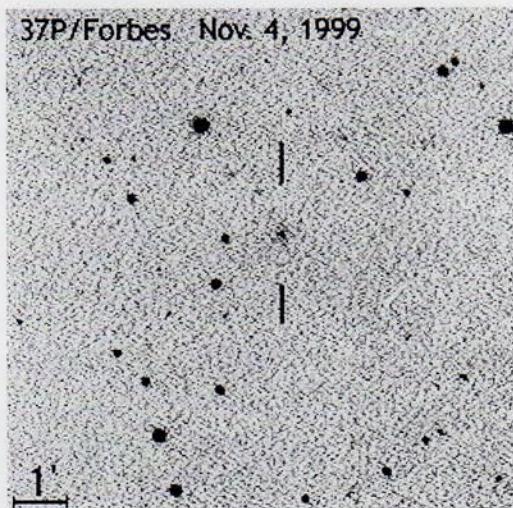
Nov. 1999

by Porco Nisse (KCAO)

このページは、1999年11月に観測した彗星の紹介です。

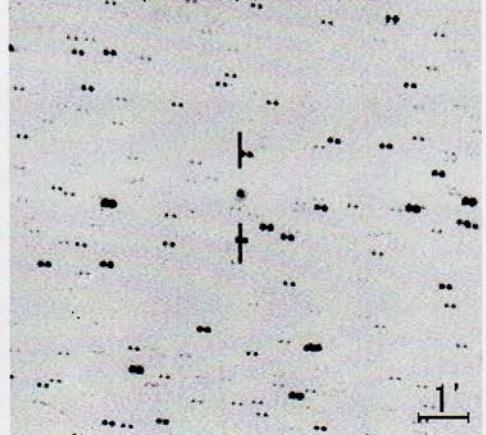
春から夏にかけての熊本の天候は悲惨でしたね。CCDカメラのトラブルもあってすっかり彗星とはご無沙汰の半年でした。時は既に初冬、見逃した彗星に心は残るけれどね、出直しです。もうすぐ2000年彗星界は相変わらずにぎやかです。

37P/Forbes Nov. 4, 1999



50P/Arend Nov. 4, 1999

C/1999 S4(LINEAR) Nov. 4, 1999



★ 37P/Forbes

今年5月に近日点を通過した短周期彗星で、観測条件が良くまだ見えています。

★ 50P/Arend

今年8月に近日点を通過した短周期彗星で、小さしながら尾も見せています。

★ 74P/Smirnova-Chernykh

来年1月に近日点を通過します。彗星らしい姿になりました。

★ 106P/Schuster

来月16日に近日点を通過します。観測条件が良く、立派な姿になりました。

★ 114P/Wiseman-Skiff

来年1月に近日点を通過します。観測条件も良いのですが、ご覧のとおり小さな星です。

★ C/1999 H1(Lee)

明るくなった新彗星の初観測です。近日点通過は7月11日とすでに最盛期を過ぎていて拡散していますがまだ名残の薄いコマが大きく見えています。このまま暗くなるのでしょうか。

★ C/1999 K8(LINEAR)

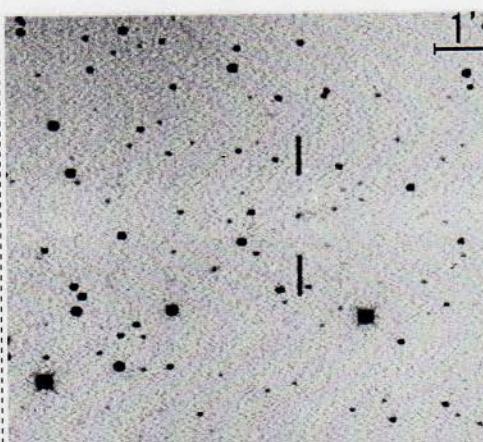
来年4月に近日点を通過しますが、近日点距離は4.2AUと遠い星です。

★ C/1999 S3(LINEAR)

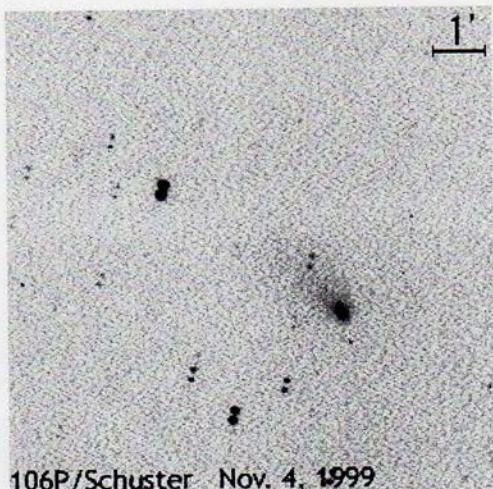
ちょうど今(11月9日)近日点を通過しています。観測条件も良く彗星らしい姿を見せてています。

★ C/1999 S4(LINEAR)

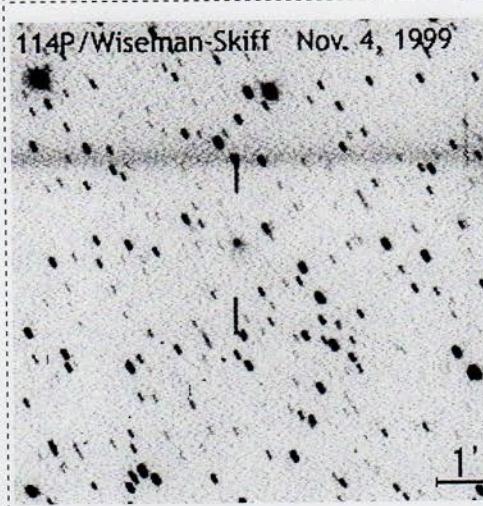
これもLINEARが見つけた星の一つです。追跡観測の結果、来年の夏に2等級に達する可能性のある軌道が計算されました。今はまだ小さいけれど、くっきりしたその姿は大彗星を予感させます。2000年の大彗星になるといいですね。



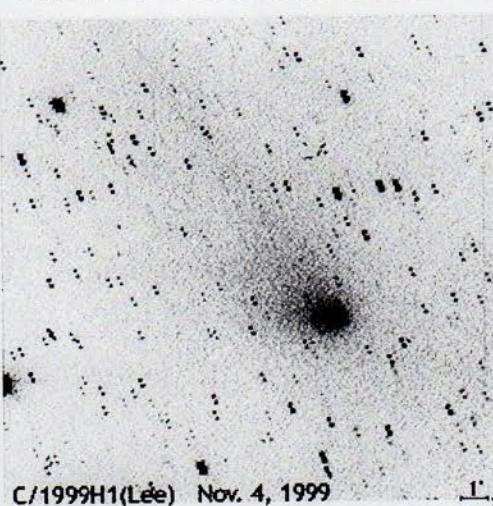
74P/Smirnova-Chernykh Nov. 4, 1999



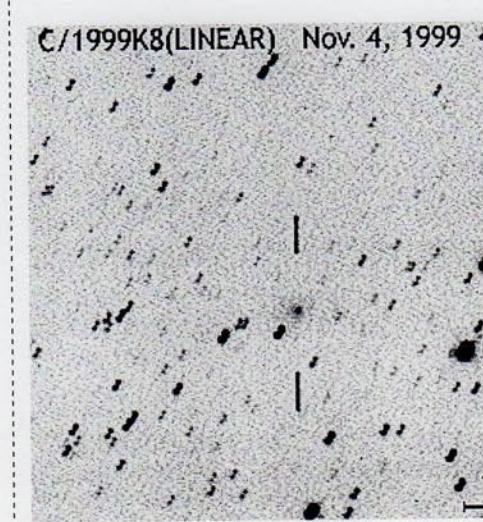
106P/Schuster Nov. 4, 1999



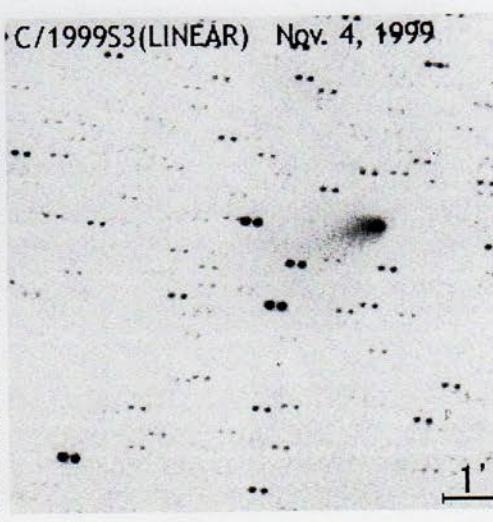
114P/Wiseman-Skiff Nov. 4, 1999



C/1999H1(Lee) Nov. 4, 1999



C/1999K8(LINEAR) Nov. 4, 1999



C/1999S3(LINEAR) Nov. 4, 1999

～ のび太の部屋 ～

～ 第3回 ～

♪ルールル ルルル ルールル～

みなさん、こんにちは。久々の「のび太の部屋」でございます。今回のお客様は、天文研究会の大御所、河田容子さんです。

※ の→のび太

か→河田さん

※ ジョイフル某店にて…

の：さて、とりあえず、河田さん、今何してるんですか？

か：いやー、修論の研究。

の：テーマは？

か：テーマを？ 言ってもいいけど…「ポリ（2-メチル-5-ビニルピリジンの酸溶液中における物性）」

の：ハイ？？

～ ここで、からあげ登場＆河田さんの電話が鳴ったため中断 ～

の：(あまりにも名前が長いので紙に書いてもらって…) これ何ですか？ ポリなんとかって言うのは…。

か：高分子。

の：これどんなヤツなんですか？

か：今使っているのはフワフワしてるけど、違う状態にもなるよね。

の：これ何に使うんですか？

か：それが問題なんだ～（笑） 何かに利用できないかっていう基礎研究。高分子のビニルピリジンが付いてるやつはけっこう研究されてて、うちの研究室では、この4とかをやってて、それを私は5をやってる。しかも、メチル基をつけたぞ、と。

の：ほお～（←理解不能）

～ この後、意味不明の話が続いた＆パフェ登場♪のため、中略～

の：あ、そうそう、何で天文研究会に入ったんですか？

か：えー、何でだろう？ でも、もう小さいときから星好きで、近くに永井さんって、天文台の台長をしていた人が住んでおられて、で、永井さんが私の小学校で星を見る会とかを開いて説明とかしてくれて、それに私も行ってたんよね。まあ、その時から好きは好きだったけど。

の：天文研究会に入って良かったことは？ 正直に（笑）。

か：うーーーーん、うーーーーん（かなり考え込んで）、やっぱり、学科の友達よりも、天文研究会の友達の方が、ほら、こう合宿とか共にしてるぶん…なんねなんね？？（笑）

の：い、いや…（笑）

か：正直に言ってるじゃん（笑）。一緒にいて楽しいかな、とは思うんだけど、どうでしょう。

の：天文研究会に入って悪かったことは？

か：夜型になった。

の：え、それ全部うちのサークルのせいですか？（笑） じゃ、天文研究会に入っちゃなから、夜10時には寝る生活でした、とか？（笑）

か：あー、そうね（笑）。でも、天文研究会だからっていう問題じゃなくて、きっとサークルに入るとそうなるよ～。

の：そう言えば、どこに就職決ましたんでしたっけ？

か：日立超 LSI システムズ。

の：半導体ですか。

か：うん。あ、最後に日立の製品をよろしくって書いといてね。

の：（なーんか、働く前から、そーゆーところだけは…）

えー、この後も話は続いた（途中でも省略したところ多数）のですが、紙面の都合で今月はこの辺で失礼いたします～。

さて、次回のお客様ですが、現在のところまだ決まっておりません。我こそは！と思う天研部員、もしくは、この人の話が聞きたい！というリクエストがありましたら、ぜひどうぞ。ではまた、来月をお楽しみに！

そろそろ年末が近づき、忘年会のシーズン到来ですが、皆様如何お過ごしでせうか。いやー、寒いですね。バイク通勤には辛い季節です。空から白い物でも降ってくれば、もう我慢大会の何者でもありません。最近になって雨が降らず、木星や土星がとってもきれいです。週末の金・土・日は運営日。今年、まだ来台されてない方。99年も、もうすぐ終わりです。99年最後に一度、是非望遠鏡でご覧下さい。とっても綺麗ですよ。

☆ 1 2月の天文現象＆行事☆

- 3日（金） 水星が西方最大離角（ $20^{\circ}22'.5$ -0.5等 視直径 $6''.7$ 09:43）
- 4日（土） 冥王星が合（太陽の北 $10^{\circ}57'.0$ 13.9等 視直径 $0''.1$ 21:03）
明け方南東の空で月と金星が接近
- 7日（火） 大雪
- 8日（水） 新月（07:32） 月の距離が本年最遠（406622km）
- 11日（土） いっかくじゅう座流星群が極大のころ トーカアバウト（20:～）
- 12日（日） 夕方、南西の空で月と火星が接近
- 14日（火） ふたご座α流星群が極大 天王星と火星が最接近（20:17 00°37'.2）
- 16日（木） 上弦（09:50）
- 22日（水） 冬至 月の距離が本年最近（356656km）
- 23日（木） 満月（02:31）、大掃除（？）
- 29日（水） 下弦（23:04）
- 31日（金） 大晦日

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 1999年12月号 通巻297号

発行所 熊本県民天文台事務局 T 861-4226

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01980-0-24463

熊本県民天文台事務局 担当 中尾 富作

ホームページ http://www.kmt-technopolis.or.jp/KUMA/KCAO_TST.HTML